

【短報】ニセコクロヒラタガムシの鹿児島県初記録と熊本県における追加記録

ニセコクロヒラタガムシ *Chasmogenus orbis* (Watanabe, 1987) は体長 3.3 mm 前後の小型の水生甲虫である。本種は稀な種として青森県や関東地方から知られていたが、近年になって北海道南部(岡田, 2015), 滋賀県(北野・苅部, 2012), 兵庫県(森, 2017), 三重県(渡部ほか, 2017), 国外では香港(Jia & Tang, 2018) から相次いで記録された。また、これらの報告では触れられていないものの、熊本県牛深市(現天草市)からの記録もある(松井, 1991)。著者のうち中島は九州から2産地目、鹿児島県初記録となる本種を採集しているのでここに報告する。また、松井は九州初記録となった産地においてその後も追加個体を採集しているのので、その記録もあわせて報告する。

4 exs., 鹿児島県伊佐市大口宮人, 3. IX. 2011, 中島採集・保管。

採集個体(図1)は体長 3.3 mm 前後、背面はやや茶色がかった黒色で光沢があり、中胸腹板は低く隆起すること、雄交尾器側片の内側に大きな歯状突起があること(図2)などの特徴から本種と同定した。採集地は比較的大規模なため池で、池の岸際にはヨシやマコモを中心とした植生が豊富で、開放水面にはジュンサイやコウホネ類が繁茂する良好な環境である。本種は岸際のごく浅い湿地状の場所でのみ確認され、個体数はあまり多くなかった。同所的にコツブゲンゴロウ *Noterus japonicus* Sharp, 1873, オオマルケシゲンゴロウ *Hydrovatus bonvouloiri* Sharp, 1882, ホソセスジゲンゴロウ *Copelatus weymarni* Balfour-Browne, 1946, ハイロゲンゴロウ *Eretes griseus* (Fabricius, 1781), ウスイロシマゲンゴロウ *Hydaticus rhantoides* Sharp, 1882, コガタノゲンゴロウ *Cybister tripunctatus lateralis* (Fabricius, 1798), ヒメガムシ *Sternolophus rufipes* (Fabricius, 1792), タマガムシ *Amphiops mater* Sharp,



図1. 生時の様子(鹿児島県産)。

1873 などが生息していた。

2exs., 熊本県牛深市須口(現天草市牛深町須口), 22. V. 1994; 1ex., 同所, 15. IX. 1996, 松井採集・保管。

採集地は海岸近くに2カ所ある廃田で、1カ所は遷移により乾燥化がかなり進行しており、残る1カ所も近い将来乾燥化が進んでもおかしくない不安定な環境である。本種はいずれも岸際の浅い場所から確認されたが、1997年以降も複数回の調査をしているもののその後は得られていない。同所的にコガシラミズムシ *Peltodytes intermedius* (Sharp, 1873), コツブゲンゴロウ, ムツボシツヤコツブゲンゴロウ *Canthydrus politus* (Sharp, 1873), マルケシゲンゴロウ *Hydrovatus subtilis* Sharp, 1882, オオマルケシゲンゴロウ, チビゲンゴロウ *Hydroglyphus japonicus* (Sharp, 1873), ナガマルチビゲンゴロウ *Leiodytes kyushuensis* (Nakane, 1990), コウベツブゲンゴロウ *Laccophilus kobensis* Sharp, 1873, シャープツブゲンゴロウ *Laccophilus sharpi* Régimbart, 1889, セスジゲンゴロウ *Copelatus japonicus* Sharp, 1873, マメゲンゴロウ *Agabus japonicus* Sharp, 1873, キベリクロヒメゲンゴロウ *Ilybius apicalis* Sharp, 1873, ウスイロシマゲンゴロウ, クロゲンゴロウ *Cybister brevis* Aubé, 1838, ヒメセマルガムシ *Coelostoma orbiculare* (Fabricius, 1775), チビヒラタガムシ *Enochrus esuriens* (Walker, 1858), キイロヒラタガムシ *E. simulans* (Sharp, 1873), マルヒラタガムシ *E. subsignatus* (Harold, 1877), ルイスヒラタガムシ *Helochaeres pallens* (MacLeay, 1825), ガムシ *Hydrochara affinis* (Sharp, 1873), ヒメガムシ, タマガムシなど多様な水生甲虫が生息していた。

末筆ながら、鹿児島県内のため池の情報についてご教示いただいた宮川続氏、鹿児島県内における水生甲虫類の記録についてご教示いただいた塚

田拓氏にこの場を借りてお礼申し上げます。

引用文献

Jia, E., & Y.D. Tang, 2018. A faunistic study of genus *Chasmogenus* Sharp, 1882 of China (Coleoptera, Hydrophilidae). Zookeys, 738: 59-66.

北野 忠・苅部治紀, 2012. 滋賀県でニセコクロヒラタガムシを採



図2. オス交尾器側片の歯状突起(矢印)(鹿児島県産)。

- 集. 月刊むし, (496): 46.
 松井英司, 1991. ニセコクロヒラタガムシ熊本県牛深市に分布する. 昆虫と自然, 26 (14): 6-7.
 森 正人, 2017. 兵庫県の水生ガムシ類. きべりはむし, 39: 42-52.
 岡田亮平, 2015. 北海道におけるニセコクロヒラタガムシの採集記録. さやばねニューシリーズ, (20): 47.
 渡部晃平・北野 忠・佐野真吾・菊部治紀・秋田勝己, 2017. 三重県におけるニセコクロヒラタガムシの初記録. さやばねニューシリーズ, (27): 32.

(中島 淳 818-0135 太宰府市向佐野 39
 福岡県保健環境研究所)
 (松井英司 865-0061 玉名市立願寺 247
 熊本県立北稜高等学校)

【短報】石川県におけるアシプトエンマアリヅカムシの記録

ハネカクシ科アリヅカムシ亜科オノヒゲアリヅカムシ上族 Brachyglutini 族 Brachyglutina 亜族に属する *Trissemus crassipes* (Sharp, 1874) アシプトエンマアリヅカムシ (図 1) は, Sharp (1874) によって *Bryaxis*



図 1. アシプトエンマアリヅカムシ♂

crassipes として長崎県から記載された後, Raffray (1904) は, *Reichenbachia* 属に移し, その後 Jeannel (1958) は, *Trissemus* 属に変更し, 現在に至っている.

また, 本種の分布等について, Löbl (1973) は, 北朝鮮の咸興市 (Hamhyung 市) 付



図 2. 石川県金沢市玉鉾町 (犀川河川敷) .

近から記録し, Nomura (2005) は, 埼玉県庄和町 (現春日部市) 新宿新田 (江戸川河川敷) から記録したほか, 本種の特徴として, 本属の他種と比べて, 前胸背板にまばらな点刻を備えることや後翅の退化等を述べている. そのほか, 野村・新井 (2008) は, 本種の生息環境が河川のコンクリート護岸の上に打ち上げられたゴミの中としている.

これらを踏まえて, 日本産ハネカクシ総目録 (柴田ほか, 2013) において, 本種の分布は本州, 九州, 北朝鮮とされており, 分布範囲が極めて局地的な種であることが分かる.

このたび, 筆者は石川県内の河川中流域のススキや芝の植生地 (図 2) の土壌から本種を採集したので, 以下のとおり報告する.

採集地点は, 乾燥気味であり素手で土壌を集めることが困難な薄い土壌層で, 熊手で土壌をかき集めた後, ウィンクラー装置を用いた.

なお, 野村・新井 (2008) で示された環境も極めて乾燥していると思われ, 今回の採集記録も含めて考察すると, 本種は乾いた環境を好むものと思われる.

本報告を記すにあたり, 本種の同定および常日頃ご指導をいただいている国立科学博物館の野村周平博士に感謝の意を表する.

1 ex., 石川県白山市鶴来水戸町 (手取川河川敷), 22. XI. 2015 ; 2 exs., 同所, 23. XI. 2015 ; 1 ex., 石川県金沢市玉鉾町 (犀川河川敷), 3. I. 2015, 全て筆者採集・保管.

引用文献

- Jeannel, R., 1958. Revision des Pselaphides du Japon. Mem. Mus. Hist. nat., Paris, (Ser. A, Zool.), 18: 1-138.
 Löbl, I., 1973. Beitrag zur kenntnis der Pselaphidae (Coleoptera) der Koreanischen Volksdemokratischen Republik, Japans und des Ussuri-Gebietes. Annl. zool., Warszawa, 30: 319-334.
 Nomura, S., 2005. Records and Notes on Three little-known species of the tribe Brachyglutini (Coleoptera, Staphylinidae, Pselaphinae) from Japan. Elytra, Tokyo, 33: 267-268.
 Raffray, R., 1904. Genera et catalogue des Pselaphidae. Ann. Soc. ent. Fr., 73: 1-400.
 Sharp, D., 1874. The Pselaphidae and Scydmanidae of Japan. Trans. ent. Soc. London, 1874: 105-130.
 柴田泰利・丸山宗利・保科英人・岸本年郎・直海俊一郎・野村周平・Volker Puthz・島田 孝・渡部泰明・山本周平, 2013. 日本産ハネカクシ科総目録. 九州大学総合研究博物館研究報告. (11): 69-218.
 野村周平・新井志保, 2008. アリヅカムシの採集と生息環境 2 (埼玉県庄和町での採集例). 月刊むし, (451): 5-8.

(中田勝之 921-8112 金沢市長坂 3-4-1)